

カスミサンショウウオの卵発見、思わず歓声！！

日頃何気なく通る道すがら、ガイドの方からたくさんのお話を頂きました。

足元に、また石積の間に挟まるように葉を広げる草花の一つ一つに名前があり、春になれば花を開いて種をつけようとしています。

『これはホトケノザ』『なんでホトケ』『花のここに仏様が座られているようだから』『だからホトケノザなんだ』

草花の一つ一つにドラマがあります。

それぞれのご専門もありお話、解説も多様で聞き入ってしまいました。

ちょうど桜も満開でおなじみのソメイヨシノを始めに山桜、他の数々。とても1回では覚えきれない程の情報を頂きました。

才が原池の湖畔を歩き生物のありようを確認します。まさに宝探し。

両生類カスミサンショウウオの卵発見！ 思わず歓声。今年も無事が確認されました。

山を巡り今春の様子を見てはメモに記入。今年もちゃんと咲いてるとか、まだ実をつけていないとか友達を訪ねているような感覚です。いつもは気に留めない鳥の声も瞬時に聞き分けて名前を教えてくださいます。

解散前の箕面公園入り口付近にて美人で有名なオオルリに遭遇、目配せでもルリ色の姿を確認。もちろん鳴き声も！

楽しい一日でした

里山調査 in 新家 虫の世界に驚愕 泉州労山 山中宏

昨年が続いて2回目の参加です。今年も幸い朝から抜けるような晴天で気分も爽やか。

田中先生の先導でいつもの公園へ、そして柔軟体操の後、公園に咲いている「たんぽぽ」の話。ここ数年の「たんぽぽ」君は「西洋たんぽぽ」君に侵略されること著しい。でも最近是我が国産の「和製たんぽぽ」の巻き返しが顕著でこの理由は環境への適応性にあるらしい。同じく公園で教わったのはセミの卵の話。彼は、いや彼女は枯れ枝へ3時間もかけておおよそ100個を産むらしい。卵は孵り地上へ落ち、更に運が良くアリなどに食べられなければ地中へ潜る。地中では7年も過ごし、やっと地上に現れ我々の目に触れるのは僅か7日ほど。「セミ」君ご苦労さま。これから私は君を見つけても決して驚かしたり勿論捕獲したりは決してしませんよ。我々「人」も地球さんの歴史から見れば超一瞬の出来事かな。そんな一瞬、一瞬を個々人が大切に考え地球さんの素晴らしい自然をいつまでも、いつまでも守っていかなければ。